

日本語・多文化共生学級（愛称：グローバルクラス）の設置状況について

外国につながるのある児童生徒の増加に対応し、全ての児童生徒が安心して学び、成長できる教育環境づくりとして、令和8年4月にグローバルクラス（日本語学級）を区立小・中学校4校に新設したので報告する。

1 目的

日本語指導が必要な児童生徒に対し、学校生活に必要な日本語や学習につながる日本語また、日本や外国の文化などを学ぶ機会を提供し、在籍校での学校生活を支援する。

2 学級名

「日本語・多文化共生学級 愛称：グローバルクラス」

3 在籍児童生徒の状況

（1）在籍人数（人）

学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
南台小学校	3	5	2	2	4	2	18
令和小学校	2	2	2	1	2	5	14
鷺の杜小学校	0	3	2	5	1	3	14
中野東中学校	2	9	9	—	—	—	20

（令和8年5月1日現在）

（2）母語（人）

学校	中国	ネパール	英語	その他	※その他内訳
南台小学校	5	2	3	8	日本6、タガログ1、ベトナム1
令和小学校	7	1	2	4	タガログ2、韓国1、ベトナム1
鷺の杜小学校	2	10	0	2	ミャンマー1、バングラディッシュ1
中野東中学校	4	9	4	3	日本2、ドイツ1

（令和8年5月1日現在）

（3）日本語能力の程度（人）

学校	全く話せない	日常会話が十分にできない	日常会話程度	学年相当の学習言語を習得中
南台小学校	0	9	9	0
令和小学校	0	10	3	1
鷺の杜小学校	1	4	8	1
中野東中学校	0	7	6	7

（令和8年5月1日現在）

(4) 通級児童生徒の状況(人)

学校	自校通級生	他校通級生	他校通級生の学校
南台小学校	8	10	中野第一(2)、中野本郷(3)、 みなみの(1)、塔山(4)
令和小学校	12	2	江原(2)
鷺の杜小学校	13	1	武蔵台(1)
中野東中学校	20	0	—

(令和8年5月1日現在)

4 今後の課題

(1) 在籍児童生徒数に応じた学級数の設置

1学級の定員は、東京都の基準に基づいて20名以内としている。今後、入級希望者が定員を上回る場合には、学級の増設を検討する。なお、学級を増設する場合には、教員配置の都合上、前年度4月中に東京都への申請が必要となることから、実施は令和10年度以降となる。

(2) 在籍生徒数に応じた設置中学校の増設

今年度、日本語指導の実績がある中野東中学校に設置したところであるが、今後は入級希望者数や生徒一人ひとりニーズ等を踏まえて他の中学校への設置についても検討する。検討に当たっては、交通アクセスや教室環境等を考慮する。なお、増設する場合の手続き等については、上記(1)と同様である。